

富岡・エコ・広報

(第26号)

発行日 2018年10月吉日

発行元：富岡地区環境推進員協議会 発行責任者：田中 美光

事務局：富岡まちづくりセンター

<http://www.town-tomioka.click/kankyo/>

「富岡・エコ広報」はインターネットからも閲覧可能です



富岡地区は中富、十四軒、フラワーヒル、神米金、所沢新田、北田、岩岡、三商北中、向陽ハイツ、下富、武野台、ネオポリス、郊外マンション、さつき台、上岩岡、北中、東海、エステシティの18地区で構成されています。

「トトロの里と私たち」



富岡地区環境推進員協議会 会長 田中 美光

狭山丘陵は、埼玉県と東京都の都県境の東西11 km、南北4 kmに広がる丘陵地です。

宮崎駿監督の「となりのトトロ」のアニメ映画に出てくる風景がまさに、富岡地区をはじめ所沢市の各地域そのものの風景です。この映画によって、多くの人に狭山丘陵がある所沢市のよさを知ってもらえたと思っています。

こんな素晴らしい景色と環境に恵まれた私たちが次代を担う若い人そして子供たちに継承できるように自分たちの日ごろの生活の中で、ぜひ、今後も引き続き取り

組んでいく事項として、

○ゴミの分別・減量・リサイクルの推進

○エコ化の推進

○緑地・山林等の保護・保全

以上のことの心がけと実践が必要です。

富岡地区、所沢市、そして日本中の皆さんが常にこのことを忘れず生活していければと環境推進員の1人として願っています。

●6月24日(日) もったいない市に参加して



中富自治会環境推進員 山下 佐一

会場を、前回までのエステシティ中富南コミュニティセンターから、富岡まちづくりセンター内に、移して開催されました。

予想以上の好評で、おどろかされました。同センターの日頃の活動が盛況なのが、大いに役立っているものと思われます。駐車場設備には、余裕があり、物品の運び入れには助かりました。次回に申しおくりたいと思いますが、再利用品をお持ち寄りいただいた方々には、大いに感謝されました。

記念品の一つ、お茶の一杯も差し上げられず、何か無愛想に思え心残りでした。また、その時次回の案内状をお渡ししました。その中で、今回のご協力感謝のことを、付記されたら良かったと、思われました。今回、「受付」に参加しての感想です。

次回のもったいない市は 10月14日(日)に開催予定です

http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/gomi/mochikomikyotenkaishuu/haitai_20081106105423685.html

◆郊外マンションの環境美化推進について

郊外マンション自治会環境推進員 中村 秀雄

郊外マンションの真ん中を通る市道に沿って幅50cm、長さ約133mと長い花壇があります。

ここに所沢市が推進する「みどりのパートナー活動」に登録、自治会のボランティアの方達と「みどりの保全活動」や「緑化の推進活動」に取り組んでいます。緑化の活動はこの花壇を利用して、チューリップを植え、1500株の満開時のお花見を楽しんでいます。

沿道を通る方達の評判も良くそれでは四季を通して楽しんでいただくという声が出ましてチューリップの間にマリーゴールドやパンジーを、夏は朝顔、ペチュニア、秋はサルビア又はオキザリス、冬はマーガレット、ハボタン等いろいろありますが花壇の様子を見ながら植え替えています。

花壇は毎日誰かが見ているので除草や水やり、県道に植えられたハナミズキやサツキ、レッドロビンへの水まきをやっています。

今年は記録的猛暑日が続きました。水やりはたっぷりまいても瞬く間に吸い込まれカラカラになります。日中の水やりは花を傷めることや熱中症をさけるため、早朝又は日没後と決め交替でやりました。

水まきのホースは約60mと長く水が中に入るとかなりの重さになります。花壇や県道の樹木へ向けて右や左へと2時間ほどかけてたっぷりまきます。朝夕散歩やジョギングの方から「ごくろうさま」と声をかけていただくと流れ出る汗も忘れ、花壇の花に明日もがんばるよと声をかける日が続きました。



●「歩きたばこ等防止啓発キャンペーンに参加して」

エスシティ自治会環境推進員 蒲原 隆一

7月3日、新所沢駅東口に17時集合！とのことで少し早めに行ってみましたが、各地区から多くの方が来られており、皆さんの啓発活動への意欲が感じられました。

早速、活動開始、まずは東口駅前の清掃（ゴミ拾い）。ロータリーからメイン道路沿いに参加者全員（20人強）でゴミ拾いを行いました。ゴミは多くなかったのですが、たばこの吸殻などが排水溝に固まっていたりしました。

清掃の後、東口駅前でメイン行事の「歩きたばこ等防止啓発」のポケットティッシュ配り、通行の邪魔にならないよう留意して行いました。通行中の皆さんもところよく受け取っておられました。

この日は、たばこを吸っている人、歩きたばこの人はほとんど見かけませんでした。きれいな街を維持していくためにも、啓発は根気強くやったほうがよいと思います。

継続は力なり！です。



◆夏の視察研修に参加して

十四軒自治会環境推進員 佐藤 久晴

9月7日(金) 富岡地区環境推進員と役所の方など総勢26名で下記のスケジュールのもと視察研修に行ってきました。

富岡まちづくりセンター発 ⇒ 入間市博物館ALIT内見学 ⇒ 狭山市稲荷山環境センター ⇒ サイボクハム ⇒ 富岡まちづくりセンター着



入間市博物館ALIT(アリット)内見学

ここでは主に狭山茶が作られた地理的要因、歴史的背景と経済的理由、茶器等の歴史など講義を受けました。地形を利用して生産される農作物、その加工・製品化はまさに循環型の産業そのものですね。

狭山茶は扇状地で生産されそして消費され自然へと回帰していきます。

なお「狭山茶の生産用具」は国の登録有形民俗文化財となっているそうです。

ちなみにALITとはA:Art L:Library I:Information T:Tea。
常設展示は「こども科学室」「入間の自然」「入間の歴史」「茶の世界」の4部からなって**狭山市稲荷山環境センター**

この施設の特徴はごみ焼却熱を有効利用している事です。地球環境に配慮した「リサイクル都市・狭山」のシンボルになっています。ごみ焼却熱は狭山市ふれあい健康センター「サピオ稲荷山」の温水プールで利用されています。

「市民の健康づくりとふれあいの場」、更に高齢化社会に対応する「在宅介護支援」を目的としたデイサービス事業を行う健康増進施設です。家族や友だちなど親しく交流しながら、健康の増進と心身のふれあいを深める場となっています。

施設長の話聞いて「私達の豊かな生活の陰で溢れる多様なゴミ、ゴミ出しのルールとかモラルとかの欠如がゴミ焼却のコストを押し上げている」事を再確認致しました。

<https://www.city.sayama.saitama.jp/shisetsuannai/kankyoshisetsu/dai2/index.html>

サイボクハム

「食を楽しみ、健康を増進し、気持ちをリラックスさせ、心を豊かにする」をコンセプトにしているそうです。

<http://www.saiboku.co.jp/store/>

最後に.....

視察の目的は・環境委員の資質向上・相互の情報交換という事になっています。焼却熱を他に流用している。「サピオ稲荷山」の例はとても興味深いものでした。数名の方と食事を共にして親睦を深められたかとは思いますが。次回も参加したく思います。

◆「これからの所沢」の事業について

富岡地区環境推進員協議会 会長 田中 美光

市は、「これからの所沢」のまちづくりに向けて、現在幾つかの事業に取り組んでいますが、今回、二つの事業についてお知らせします。

【ところざわサクラタウンの事業内容について】 <http://tokorozawa-sakuratown.jp/>



市と(株)KADOKAWAの共同プロジェクトで事業が進められています。ホル(33室)、千人テラス(千人が憩える場やバスケコート)、角川ミュージアム(図書館、美術館、博物館、アニメミュージアムを併設)、

(株)KADOKAWAホス、書籍製造・物流、バスケホール(立席1800人、座席700人収容)、商店街(レストラン、コンビニなど)

- ・場所 東所沢3丁目(東所沢公園西側、JR東所沢駅徒歩約10分)
- ・着工・オープン 平成30年2月着工、2020年夏オープン

【東部クリーンセンターの改修工事について】

東部クリーンセンターは、平成 12 年 6 月に建設工事に着手、平成 15 年 3 月に竣工し、4 月より稼働を開始。市内で発生する可燃ごみを焼却しているほか、東西クリーンセンターの焼却施設から排出される焼却灰等の熔融処理を行い、埋立対象廃棄物の減量化・資源化を図っています。また、東部クリーンセンターリサイクルプラザでは、「破碎ごみ類」「粗大ごみ」「びん・かん・スプレー缶」の処理を行っており、「プラスチック」は東部クリーンセンター内のプラスチック類処理施設及び西部クリーンセンター内の容器包装プラスチック処理施設において、それぞれ処理を行っています。

現在、装置の一般的な耐用年数と言われる 15 年に近づいている状況にあり、低コストで施設の性能を長期に維持していくための施設保全計画と、長期稼働に伴う施設性能の低下や老朽化に対して行う、基幹的設備・機器の更新等の整備内容をまとめた延命化計画からなる長寿命化総合計画を策定しました。

所沢市東部クリーンセンター長寿命化総合計画 概要版より引用

<https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/gomi/tobucleancenter/sutokkumanejimento.files/tyoujumyouka.pdf>

◆環境推進員の紹介

環境推進委員理事の方の写真です。新任の環境推進員（広報員）の方より「ひと言」頂きました。



●中富自治会環境推進員 山下 佐一

定年退職後 18 年もの間、昭和ボケしていた私に、自治会役員だけでなく、環境推進員をも命じられることになりました。自治会の班長しか経験なく、非常に心もとない。足手まといにならないよう務めます。よろしくお願いいたします。

●下富自治会環境推進員 大河原 寿宏

今年度から環境推進員になりました、下富自治会の大河原です。これまで以上に、環境を意識しながら、環境保全に取り組んで参りたいと思います。

●十四軒自治会環境推進員 神山 美樹

会員の皆さまのおかげでここまでやってこられました。これからも頑張っていくのでよろしくお願いいたします。

●武野台自治会環境推進員 北田 さかえ

初めて環境推進員の役員を受けた時は、どのような仕事をするのか、不安でいっぱいでしたが、会議に出席すること、勉強になる事が多く、地域の環境美化を住民の皆様と助け合いながら緑で美しいエコでごみのない住み良い環境を作りたいと思うようになりました。これからも、会長さんや役員の皆様と一緒に協力しながら、一年間頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

●フラワーヒル自治会環境推進員 藤吉 千栄子

このほど初めての環境推進員として参加することとなり、当初は不安でいっぱいでした。春の環境美化の日の清掃が初仕事でしたが、環境推進員として取り組むとなると意識が違います。以前はゴミが多かった鎌倉街道が、探さなくては拾えないくらいになって嬉しく思いました。みどり豊かな富岡地区の環境を守れるよう、頑張っけてゆきたいと思います。

●ネオポリス自治会環境推進員 荘司 廣紀

この度、平成 30 年度、所沢市環境推進員をやっているネオポリス自治会の荘司廣紀と言います。不慣れでわからない事も多くありご不便をかけることもあります。色々なご意見をいただき、積極的に参加しますので、よろしくお願いいたします。

●十四軒自治会環境推進員 佐藤 久晴

気付いたらゴミ拾い」と習慣にしたい。雲一つない青空、ゴミ一つない街。
今自分にできる事「ゴミ拾い」かな！よろしくお願いいたします。

～編集後記～

「ジオストーム」という映画をご存知でしょうか？。地球規模での異常気象により天候の制御が必要となり、最新技術を搭載した気象をコントロールする衛星「ダッチボーイ」が開発される。しかし、権力者により悪用されてしまい衛星が暴走。不可解な異常気象が同時多発的に起こる地球壊滅災害「ジオストーム」の発生を防ぐべく、衛星開発者と国務省スタッフの兄弟が、絶体絶命の危機に立ち向かう。といったストーリーです。SF の世界ではありますが、最近の異常気象（昨今では極端気象と呼ぶそうです）を見ますとこういった最新技術も必要となる時が来るのではと考えてしまいます。

少しでも多くの方が環境について考えていくことが重要ではないでしょうか。 上岩岡自治会環境推進員 田村 幸弘